

長野県ゼロカーボン戦略

近年、地球温暖化が原因と考えられる異常気象や気象災害（大型台風、ゲリラ豪雨・豪雪、大規模山火事など）が世界各地で頻繁に発生し、気候変動は今や人類共通の課題となっています。

長野県は、令和元年12月に都道府県として初めて「気候非常事態宣言」を行い、2050年度までに二酸化炭素排出量を実質ゼロ（ゼロカーボン）にする決意を表明しました。この宣言は、富士見町を含めた県内全77市町村が賛同しています。

この気候危機ともいえる非常事態を突破し、かけがえのない美しい地球を守るため、一人ひとりの意識や取り組みが求められます。

気候非常事態宣言

今後、県民一丸となった徹底的な省エネルギーと再生可能エネルギーの普及拡大の推進、さらにはエネルギー自律分散型で災害に強い地域づくりを進め、長野県の持続的発展を図っていくものです。

長野県ゼロカーボン戦略

令和3年6月に長野県が策定した「長野県ゼロカーボン戦略」は、長野県の行政計画であると同時に、県内で地球温暖化対策等に取り組む各主体の行動に対して方向性を示し、相互の連携・協力を推進するための計画でもあります。

アルクマ博士に聞いてみよう！



Q. 「2050ゼロカーボン」ってなに？

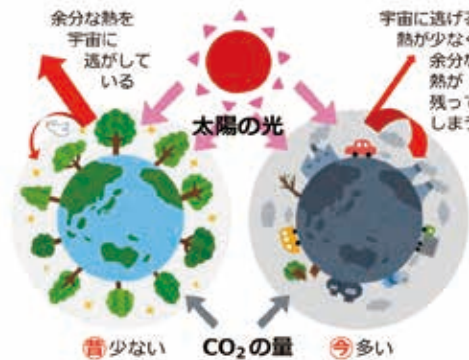
2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロ※にすることです。

※森林が吸収する二酸化炭素の量などを差し引いて、全体を±0（プラマイゼロ）とすること

地球の平均気温が上がっていくことを「地球温暖化」といいます。

気温が上がったのは、地球を取り囲み太陽光で暖められた熱の一部を宇宙へ逃がさないようにする働きを持つ「温室効果ガス」が増えすぎたからと言われています。

温室効果ガスの大半を占めるのが二酸化炭素（CO₂）です。**温暖化を防ぐためには、二酸化炭素を減らす必要があります。**



Q. どうやったらゼロカーボンを達成できるの？

①使うエネルギー量を7割減らす

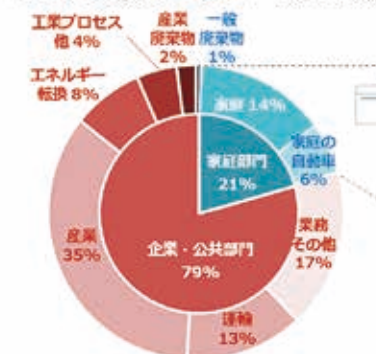
②再生可能エネルギー※を3倍以上に増やす などに取り組めます。

※太陽光、風力、水力など自然の仕組みを利用して得られる、CO₂を出さないエネルギー

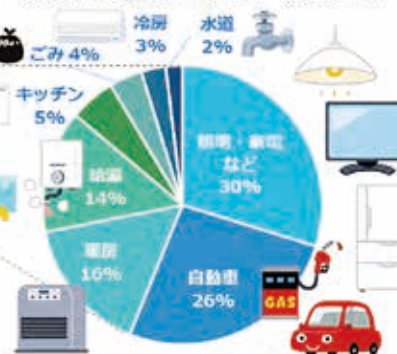
CO₂は大きな工場からだけでなく、車に乗り、テレビや冷蔵庫など家電製品を使い、昔よりもエネルギーをたくさん使う、私たちの暮らしからも出ています。

「2050ゼロカーボン」を達成するためには、使うエネルギーを少なくする**省エネ**を徹底し、石油などの化石燃料をやめて、再生可能エネルギーから作られた電気を使うライフスタイルに変えていくことが求められています。

日本のCO₂はどこから？（2019年度）



家庭のCO₂はどこから？（2019年度）



【出典】環境省「2019年度（令和元年度）の温室効果ガス排出量（概略値）」を基に作成
国立環境研究所温室効果ガスインベントリオフィスのデータを基に作成

できることからやってみましょう

●生活の中の「無駄」を見直してみませんか

明かりやテレビがつけばなし、冷蔵庫が開けばなし、なんてことはありませんか。

「～っぱなし」をやめる、洗濯物や洗い物はまとめて洗う、冷蔵庫を何度も開閉しないなど、生活の中にある「無駄」を見直すことが、ゼロカーボンへの第一歩になります。



●住む「家」について考えてみませんか

省エネ性・断熱性の高い家は、屋外の暑さ・寒さの影響を受けにくいいため、一年を通して快適に過ごせるうえ、光熱費も安く済みます。

例えば、熱の出入口となる窓や外壁をリフォームすることで、家の断熱性能はグッと上がります。利用できる補助金もありますので、ぜひ検討ください。



●使うエネルギーを選んでみませんか

私たちが使っている電気の8割以上は、石炭などの化石燃料を使って発電されています。

平成28年から、誰でも再生可能エネルギーで作られた電気に契約を変更することができるようになりました。また、家庭用太陽光発電により自分の家で発電した電気を使い、余った電気を売ることもできます。

どんなエネルギーを使って生活するか、見直してみませんか。

信州ゼロカーボンBOOK

その他の取り組みの例や、ゼロカーボンに関する詳しい説明などは、こちらをご覧ください。



長野県PRキャラクター「アルクマ」
©長野県アルクマ

アルクマ博士のまとめ

県民一人ひとりが、地球温暖化を防ぐために省エネを心がけ、二酸化炭素を削減することが大切です。自分たちの生活をもう一度見直し、普段からゼロカーボンにつながる行動を実践していきましょう。

活用できる補助金があります

既存住宅エネルギー自立化補助金

申込 問 諏訪地域振興局 環境課 ☎57-2952

長野県では、住宅のエネルギー自立化を推進するため、太陽光発電設備と蓄電池の設置を支援します。

【対象者】

自己住宅用の既存住宅に「信州の屋根ソーラー認定事業者」の販売・施工により、

- ①太陽光発電設備と蓄電池を同時に設置する方
- ②蓄電池のみを設置する方

【補助額】1戸あたり20万円

(蓄電池設置のみ場合は15万円)

※グループ・パワー・チョイスとの併用はできません。

詳細はホームページをご覧ください。

<https://www.pref.nagano.lg.jp/>

[zercarbon/jiritsu.html](https://www.pref.nagano.lg.jp/zercarbon/jiritsu.html)



富士見町 住宅リフォーム補助金

申込 問 建設課 都市計画係 ☎62-9216

町では、町内業者に依頼して住宅リフォームを行う方に、費用の一部を補助しています。

【対象者】

富士見町に住民登録がある方で、補助対象建築物の所有者であり、町が賦課する町税・料金の滞納がない方

※以下に該当する場合は補助金が加算されます

ア.移住者および多世代同居をしているまたはしようとする方

イ.居住誘導区域内でリフォームする方

ウ.消防団員等(申請者および申請者と同居する3親等以内の家族が対象)

【補助額】補助対象工事費の1/2(上限10万円)

※対象者アに該当の方は上限30万円加算

※対象者イ・ウに該当の方は上限5万円加算